

令和3年度「地域年金展開事業」取組結果

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

東北福島年金事務所
(福島県代表年金事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

目 次

- 1 令和3年度 of 取組結果・ 3頁
 - (1) 地域連携事業
 - (2) 年金セミナー事業
 - (3) 地域相談事業
 - (4) 年金委員活動支援事業
- 2 「ねんきん月間」「年金の日」 of 取組・ 17頁
- 3 マスコミでの取り上げ状況 18頁
- 4 福島県内各年金事務所における取組 19頁
(東北福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河)
- 5 福島県地域年金事業運営調整会議 25頁
- 6 各事業における総括と今後の対策 26頁

1 令和3年度の取組結果

(1) 地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施状況

年金制度の正しい知識や手続き、制度改正等の情報を地域において周知するため、各関係機関・団体と協力して下記のとおり年金制度説明会を実施しました。

令和3年度より、Web会議サービスを使用したオンラインでの制度説明会を積極的に実施しており、102回2,313名のうち24回332名に対して、オンラインでの制度説明会を実施しました。

また、ラジオを利用した制度説明や社会保険事務担当者への制度説明についても継続的に行っています。

事務所	企業・団体等		自治会・公的機関等		社労士・社労士会		社会保険協会・委員会等		受給者協会		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東北福島	5回 3回	298名 249名	10回 2回	182名 50名	3回 —	38名 —	4回 —	75名 —	1回 —	28名 —	23回 5回	621名 299名
郡山	8回 4回	366名 308名	7回 2回	108名 39名	— —	— —	7回 5回	104名 105名	1回 —	45名 —	23回 11回	623名 452名
平	2回 1回	162名 136名	4回 3回	116名 75名	1回 —	25名 —	— —	— —	— —	— —	7回 4回	303名 211名
会津若松	19回 5回	330名 201名	9回 3回	93名 80名	— —	— —	1回 —	10名 —	— —	— —	29回 8回	433名 281名
相馬	2回 2回	106名 71名	3回 1回	22名 20名	— —	— —	— —	— —	1回 —	6名 —	6回 3回	134名 91名
白河	6回 2回	112名 63名	6回 3回	46名 48名	1回 —	25名 —	1回 —	16名 —	— —	— —	14回 5回	199名 111名
合計	42回 17回	1,374名 1,028名	39回 14回	567名 312名	5回 —	88名 —	13回 5回	205名 105名	3回 —	79名 —	102回 36回	2,313名 1,445名

(注1) 青字は令和2年度実績。

(注2) 企業等には社会保険事務説明会を含む。

(注3) 合同開催は各年金事務所において、実施回数及び人数を計上。

(1) 地域連携事業

① 退職準備セミナーへの講師派遣

福島県労働福祉協議会主催の退職準備セミナーにおいて、退職を控えている方や数年後に退職を迎えられる方々に対して、年金制度の概要や退職後の年金手続きについての説明を行いました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行われ、参加された方より「こうした機会ありがたい。年金受給手続きの予備知識として大変参考になった。」などのご感想をいただきました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日 (各土曜日)	1月29日	10月23日	1月15日	12月18日	11月20日	10月30日	—
参加者数	41名	26名	43名	17名	11名	10名	148名

② 社会保険労務士会との合同研修会の実施

福島県社会保険労務士会福島支部・いわき支部主催の研修会において、会員の方々に対して対面及びWeb会議サービスを使用した研修会を行いました。

事務所名	実施機関	研修内容	受講者数
東北福島	社会保険労務士会福島支部	GビズIDを利用した電子申請の方法	12名
平・白河	社会保険労務士会いわき支部	令和4年度の年金制度改正法について	25名

(1) 地域連携事業

■ 電子申請の利用促進に向けた協力要請

社会保険手続きの簡素化及びお客様の利便性を図るため、電子申請利用促進に向けた協力要請を行いました。

- 職域型年金委員のいる事業所に対して、リーフレット等の送付や電子申請の利用勧奨を実施。
- 福島県商工会議所連合会及び福島県商工会連合会(県内88商工会)へ、窓口等でのリーフレット設置を依頼。
- ラジオ内で電子申請の利用を案内。
- 福島県社会保険労務士会に対して、「電子申請ガイドブック」を使用したオンラインでの研修会を実施。
- 福島県社会保険協会発行の広報誌「社会保険ふくしま」内に記事掲載を依頼。

■ 公的年金制度の周知・広報に基づく情報提供活動の取り組み

① チラシ・ポスター等の配布

- 市町村、自治体、事業所などへ「年金予約相談」及び「ねんきんネット」チラシ・ポスター等の配布・掲示等を依頼。
- 教育関係機関、市町村、年金委員へ「年金エッセイ」募集に関する協力とリーフレット、ポスターの配布・掲示等を依頼。

② 「年金制度説明会」開催に向けたパンフレットの配布

- 関係機関や年金委員などへ申し込み用パンフレットを作成し配布。

(1) 地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等/社労士会/受給者協会	受講者数	自治体・公的機関等	受講者数	社会保険協会・委員会等	受講者数
東北福島	・福島県社会保険労務士会連絡会議 ・福島県社会保険労務士会福島支部役員会 ・福島医療生活協同組合 制度説明会 ・福島県国際交流協会 制度説明会 ・福島県社会保険労務士会福島支部研修会 ・年金受給説明会(福島市) ・きらり健康生活協同組合 制度説明会 ・社会保険事務講習会(福島市) ・社会保険事務講習会(二本松市)	9 12 15 13 17 28 15 207 48	・管内市町村 新任事務担当者研修会 ・生活保護業務担当者研修会 ・退職準備セミナー(福島市) ・管内市町村等 年金制度説明会(6回) ・管内市町村等 年金制度説明会(東北福島・相馬合同)	20 35 41 80 6	・福島県社会保険協会福島支部 理事・評議員会 ・福島県社会保険協会 定時評議員会 ・福島県社会保険協会福島支部 評議員会 ・福島県社会保険委員会福島支部 役員会	18 24 18 15
郡山	・退職公務員連盟岩瀬支部 制度説明会 ・福島県国際交流協会 制度説明会 ・年金受給説明会(郡山市) ・管内事業所 制度説明会 ・管内事業所 制度説明会(退職者向け) ・管内事業所 制度説明会(事務担当者向け) ・社会保険事務講習会(郡山市) ・社会保険事務講習会(須賀川市) ・社会保険事務講習会(田村市)	18 10 45 16 14 8 234 46 20	・ハローワーク郡山(郡山市にこここども館) 制度説明会 ・退職準備セミナー(郡山市) ・福島県立テクノアカデミー郡山(教員対象) ・福島県立あぶくま支援学校(保護者対象) ・ハローワーク郡山 就職支援セミナー ・福島県立須賀川支援学校(保護者対象) ・管内市町村等 年金制度説明会	14 26 2 30 11 13 12	・郡山社会保険委員会 理事会・研修会 ・福島県社会保険協会郡山支部 理事・評議員会 ・郡山社会保険委員会 総会・研修会 ・福島県社会保険協会郡山支部 評議員会 ・郡山社会保険委員会 支部長会議(3回)	21 12 45 10 16
平	・浜通り医療生活協同組合 制度説明会 ・管内社会保険労務士 制度説明会(平・白河合同) ・社会保険事務講習会(いわき市)	1 25 161	・福島県立いわき支援学校(保護者対象) ・管内市町村 新任事務担当者研修会 ・いわき市立平第二中学校(事務職員対象) ・退職準備セミナー(いわき市)	38 15 20 43		
会津若松	・会津アピオPCスクール 制度説明会(3回) ・会津アピオPCスクール 制度説明会(3回) ・株式会社 わーくすたいる 制度説明会 ・株式会社 わーくすたいる 制度説明会(2回) ・トコムOAスクール 制度説明会(2回) ・トコムOAスクール 制度説明会 ・株式会社 オノデラ 制度説明会 ・株式会社 オノデラ 制度説明会 ・管内事業所 制度説明会(3回) ・管内事業所 制度説明会 ・社会保険事務講習会(会津若松市)	33 36 4 30 25 14 10 14 39 2 123	・福島県立テクノアカデミー会津(事務担当者) ・福島県立テクノアカデミー会津(指導員、推進員)(2回) ・管内市町村 新任事務担当者研修会 ・市町村担当者障害年金事務研修会 ・退職準備セミナー(会津若松市) ・管内市町村 制度説明会(3回)	7 14 15 19 17 21	・会津若松社会保険委員会研修会	10
相馬	・相馬年金受給者協会役員会 ・社会保険事務講習会(相馬市) ・社会保険事務講習会(南相馬市)	6 34 72	・管内市町村 国民年金担当者研修会 ・退職準備セミナー(南相馬市) ・管内市町村等 年金制度説明会(東北福島・相馬合同)	5 11 6		
白河	・新規適用事業所事務説明会(4回) ・管内社会保険労務士 制度説明会(平・白河合同) ・社会保険事務講習会(白河市) ・社会保険事務講習会(棚倉町)	14 25 72 26	・管内市町村 新任事務担当者研修会(3回) ・退職準備セミナー(白河市) ・福島県中学校長会東西しらかわ支会 ・ハローワーク白河 制度説明会	16 10 18 2	・福島県社会保険協会白河支部 評議員会	16

(注) 紫字はWeb会議サービスを使用したオンラインで実施

(2) 年金セミナー事業

■ 教育機関における年金セミナーの実施

各教育関係機関のご協力をいただき、県内の対象校425校(※1)のうち、61校(79回)3,303名の学生・生徒に対して年金セミナーを実施しました。そのうち、Web会議サービスを使用したオンラインセミナーは9校(22回)で、動画(DVD)での実施は17校(17回)となりました。(※1)内訳:公立・私立中学校(226校)、公立・私立高等学校(108校)、特別支援学校等(23校)、大学・専門学校(68校)

《教育機関別の年金セミナー実施状況》

事務所名	大学・専門学校		特別支援学校等		高等学校		中学校		合計	
	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数
東北福島	4校(6回) 2校(2回)	228名 163名	— —	— —	6校(7回) 2校(2回)	651名 285名	2校(2回) 1校(1回)	330名 197名	12校(15回) 5校(5回)	1,209名 645名
郡山	4校(7回) 4校(5回)	211名 312名	4校(4回) 2校(2回)	44名 13名	4校(6回) 2校(2回)	336名 309名	4校(7回) 5校(5回)	229名 199名	16校(24回) 13校(14回)	820名 833名
平	1校(1回) 2校(2回)	40名 81名	— —	— —	4校(5回) 4校(5回)	199名 289名	6校(8回) 2校(4回)	237名 137名	11校(14回) 8校(11回)	476名 507名
会津若松	2校(2回) —	42名 —	— —	— —	6校(6回) 4校(4回)	305名 136名	4校(6回) 3校(5回)	163名 121名	12校(14回) 7校(9回)	510名 257名
相馬	1校(8回) 1校(1回)	76名 92名	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1校(8回) 1校(1回)	76名 92名
白河	4校(4回) 4校(4回)	98名 115名	— —	— —	— 1校(1回)	— 18名	4校(7回) —	114名 —	8校(11回) 5校(5回)	212名 133名
合計	16校(21回) 13校(14回)	695名 763名	4校(4回) 2校(2回)	44名 13名	20校(24回) 13校(14回)	1,491名 1,037名	21校(30回) 11校(15回)	1,073名 654名	61校(79回) 39校(45回)	3,303名 2,467名

(注1)青字は令和2年度実績。

(注2)動画(DVD)での年金セミナーの実施回数は1回で計上

(注3)オンラインでの年金セミナーの実施回数は1グループ=1クラス(1回)で計上

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナー実施に向けた具体的な取り組み

- ① 福島県教育庁(教育総務課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課)へ「年金セミナー」開催に向けた協力依頼
・令和3年4月26日～5月10日 (代表年金事務所)
- ② 福島県校長会(中学校・高等学校・特別支援学校)での「年金セミナー」開催に向けた協力依頼
・令和3年4月28日～5月12日 (代表年金事務所)
- ③ 福島県総務部 私学法人課へ「年金セミナー」開催に向けた文書による協力依頼
・令和3年5月12日 (代表年金事務所)
- ④ 「年金セミナー」開催に向けた地域年金推進員との打ち合わせ
・令和3年5月下旬 (東北福島・郡山年金事務所)
- ⑤ 福島県内の学校へ「年金セミナー」開催等に向けた依頼文書を発送
・令和3年6月4日 (代表年金事務所)
- ⑥ 「年金セミナー」開催に向けた地域年金推進員の電話によるアプローチ活動
・令和3年6月上旬～(通年) (県内全域)
- ⑦ 福島県校長会 理事会(中学校・高等学校・特別支援学校)での「年金セミナー」開催に向けた協力依頼
・令和3年6月9日～11日 (代表年金事務所)
- ⑧ 福島県内の学校へ「第2回福島県年金ポスターコンクール」及び「わたしと年金」エッセイ募集における依頼文書を発送
・令和3年6月21日 (代表年金事務所)
- ⑨ 福島県内の学校へ今年度及び次年度の「年金セミナー」開催等に向けた依頼文書を発送
・令和3年10月～12月 (各年金事務所)

〈地域年金推進員の活動〉

地域年金推進員のアプローチ活動においては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和3年度は電話勧奨のみとなりました。

年金セミナーの実施方法として、対面のみに限らず、非対面(オンライン)や動画提供(DVD)を積極的にアプローチした結果、昨年より実施件数が大幅に増加しました。

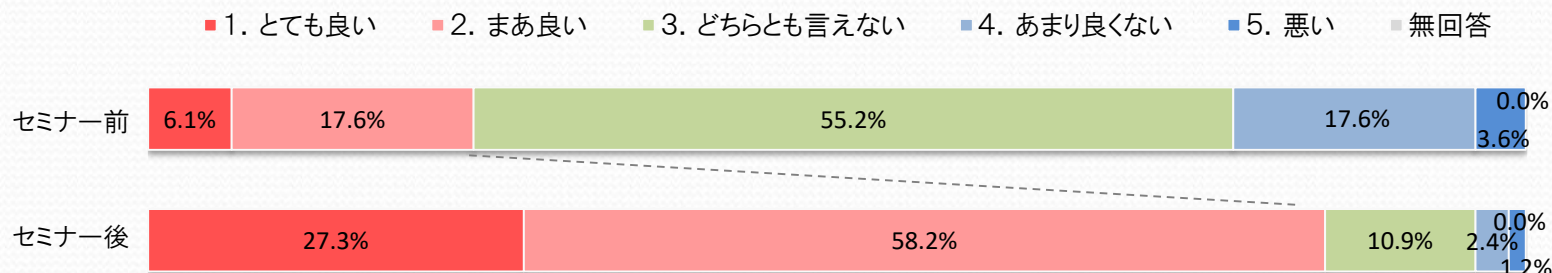
また、学校長経験者としての高いプレゼンテーションスキルにより、年金セミナーの講師や職員へのアドバイスなど、幅広くご活躍いただいております。

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーのアンケート結果

○ 年金に対するイメージについて

Q. セミナーを受ける前と受けた後の「年金」に対するイメージはどうでしたか？



『とても良い・まあ良い』の評価は、セミナー前の 23. 7% からセミナー後は 85. 5% になりました

※東北福島年金事務所管内で対面で実施し、アンケートにご協力いただいた中学生209名の回答

○ ご意見・ご感想（一例）

- 自分の老後の生活を考えると、年金は必要になると思いました。そして、自分だけでなく世代と世代の支え合いも大切と思いました。
- 年金自体は知っていましたが、詳しい内容や仕組みなどは知らなかったもので、これからのために仕組みなどを知ることができてよかったと思います。
- 遺族年金や障害年金という色々な種類の年金を知れて良かったです。
- 私達にとってもいずれ必要なものだとは理解できましたが、詳しい金額になってくるとちょっと難しかったです。
- 今回の年金講座に出席して感じたことや思ったことが多くあった。20歳になったら「国民年金」に加入しないといけない理由が「世代と世代の支え合い」をしなければならないことまで深く知ることができた。今回の体験を今後活かしていけるようにしていきたい。
- 今まで、年金などの事はあまり知らず、関係もないと思っていましたが、今日の話聞き、年金は少子高齢化が進む現在の社会には老後生活を支えるという面でもとても大切な事が理解できました。

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（大学・専門学校）

実施月	大学	学年	受講者数	事務所名	専門学校	学年	受講者数	事務所名
5月					・学校法人 iwakiヘアメイクアカデミー	1、2	40	平
6月					・太田看護専門学校(2回) ・白河厚生総合病院附属高等看護学院	2 2	74 31	郡山 白河
7月	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	50	白河	・福島県立総合衛生学院 ・しらかわ介護福祉専門学校(DVD)	3 2	8 12	東北福島 白河
10月					・AIZUビューティーカレッジ	1、2	12	会津若松
11月					・郡山ヘアメイクカレッジ ・福島県立テクノアカデミー郡山(2回)	1 2	63 45	郡山 郡山
12月	・福島学院大学	1	45	東北福島	・福島看護専門学校 ・仁愛看護福祉専門学校 ・福島県立テクノアカデミー浜(8回) ・白河医師会白河准看護学院	1～3 2 1、2 2	135 30 76 5	東北福島 会津若松 相馬 白河
1月					・ケイセン公務員ビジネスカレッジ	1	9	郡山
3月					・大原看護専門学校(DVD) ・ケイセンビジネス公務員カレッジ(DVD)	1 1	40 20	東北福島 郡山

(注1) 橙字は、DVDによる動画での年金セミナー実施

(注2) 紫字はWeb会議サービスを使用したオンラインで実施

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
7月	・福島県立西会津高等学校 ・福島県立耶麻農業高等学校(DVD)	2 3	16 20	会津若松 会津若松	・会津若松ザベリオ学園中学校(DVD)	3	40	会津若松
8月					・福島県立会津学鳳中学校	3	85	会津若松
9月					・福島市立福島第一中学校	3	209	東北福島
10月	・福島県立須賀川高等学校	3	188	郡山				
11月	・星槎国際高等学校郡山学習センター ・磐城緑蔭高等学校(DVD)	3 3	13 56	郡山 平	・郡山市立安積第二中学校 ・いわき市立錦中学校(DVD) ・いわき市立植田東中学校(DVD) ・鮫川村立鮫川中学校	2 3 3 3	100 61 53 24	郡山 平 平 白河
12月	・福島県立本宮高等学校(2回) ・聖光学院高等学校(DVD) ・福島県立郡山支援学校 ・福島県立船引高等学校(3回) ・福島県立あぶくま支援学校 ・福島県立勿来高等学校 ・福島県立川口高等学校(DVD) ・福島県立喜多方高等学校(2回)	3 3 2、3 1 3 3 3 3	17 200 5 96 16 48 25 72	東北福島 東北福島 郡山 郡山 郡山 平 会津若松 会津若松	・須賀川市立小塩江中学校 ・いわき市立内郷第三中学校 ・いわき市立内郷第二中学校 ・いわき市立川前中学校 ・白河市立表郷中学校 ・白河市立東北中学校	3 3 3 3 3 3	6 10 32 2 47 37	郡山 平 平 平 白河 白河

(注1) 橙字は、DVDによる動画での年金セミナー実施

(注2) 紫字はWeb会議サービスを使用したオンラインで実施

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
1月	・福島県立福島工業高等学校(定時制) ・福島県立福島明成高等学校 ・福島県立福島北高等学校 ・福島県立福島南高等学校(DVD) ・須賀川支援学校 ・福島県立郡山北工業高等学校 ・福島県立いわき翠の杜 ・福島県立四倉高等学校	3、4 3 3 3 3 3 3、4 3	22 224 148 40 10 39 40 55	東北福島 東北福島 東北福島 東北福島 郡山 郡山 平 平	・田村市立常葉中学校(DVD) ・南会津町立舘岩中学校(DVD)	3 3	35 7	郡山 会津若松
2月	・福島県立たむら支援学校高等部 ・福島県立喜多方桐桜高等学校(DVD) ・福島県立大沼高等学校(DVD)	3 3 2	13 106 66	郡山 会津若松 会津若松	・伊達市立桃陵中学校 ・西郷村立川谷中学校	3 3	121 3	東北福島 白河
3月					・郡山市立小原田中学校(DVD) ・いわき市立勿来第一中学校 ・湯川村立湯川中学校(DVD) ・西郷村立川谷中学校	3 3 3 3	88 79 31 3	郡山 平 会津若松 白河

(注1) 橙字は、DVDによる動画での年金セミナー実施

(注2) 紫字はWeb会議サービスを使用したオンラインで実施

(3) 地域相談事業

■ 出張年金相談の実施

遠方にお住まいの方で、年金事務所へお越しいただくことが困難なお客様のために、市町村での出張年金相談を開催しています。

広報については、市町村や福島県社会保険協会の広報誌に掲載いただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」に掲載して周知に努めています。

《市町村での出張年金相談》

事務所	開催市町	実施場所	相談日	開催回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	隔月第2木曜日	5回	23名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	毎月第2、4水曜日	14回	42名

■ イベント会場において出張年金相談の実施

いわき市主催のイベント「いわき市民文化祭」の会場で出張年金相談を行いました。

当日は、幅広い年齢層が集まる中で、平年金事務所管内の地域型年金委員の方にもご協力いただき、イベント会場で年金相談予約制やねんきんネット利用促進リーフレットを来場者へ配布しました。

(4) 年金委員活動支援事業

■ 年金委員委嘱者数

年金委員とは、政府が管掌する厚生年金保険および国民年金に関する適用・給付・保険料などについて、会社や地域において啓発、相談、助言などの活動を行う民間協力員です。

年金委員は活動により、職域型と地域型の2つに区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域において活動していただいています。

令和3年度の県内の職域型年金委員数は2,462名、地域型年金委員数は146名となり、前年度より職域型で235名増加、地域型で52名の増加となりました。

事務所名	平成30年度末			令和元年度末			令和2年度末 (A)			令和3年度末(B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	560	20	580	559	20	579	558	23	581	635	45	680	77	22	99
郡山	523	13	536	516	12	528	512	12	524	532	17	549	20	5	25
平	415	19	434	415	17	432	403	20	423	422	26	448	19	6	25
会津若松	376	17	393	373	10	383	368	13	381	418	22	440	50	9	59
相馬	171	3	174	172	3	175	151	3	154	205	9	214	54	6	60
白河	234	16	250	236	27	263	235	23	258	250	27	277	15	4	19
県内計	2,279	88	2,367	2,271	89	2,360	2,227	94	2,321	2,462	146	2,608	235	52	287

(4) 年金委員活動支援事業

年金委員への活動支援として、毎年研修会や連絡会を開催しております。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、一部研修会を除いて対面による研修会・連絡会を中止しました。

■ 年金委員活動にかかる具体的な取り組み

- ① 地域型・職域型年金委員へ国民年金保険料関連の制度周知及び事業所の事務手続きなどに係るリーフレットの送付
・令和3年5月（各年金事務所）
- ② 地域型年金委員向け広報紙「支えあい」の送付
・令和3年6月・10月・2月発行（各年金事務所）
- ③ 地域型・職域型年金委員へ新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の納付猶予・免除等の案内の送付
・令和3年9月（日本年金機構本部）
- ④ 「ねんきん月間」に係るポスター・リーフレットの送付
・令和3年11月（各年金事務所）
- ⑤ 令和3年度 年金委員、健康保険委員、事業主表彰伝達式の実施
・令和3年11月12日（代表年金事務所主体）
- ⑥ 令和3年度「全国年金委員研修(TV会議)」の実施
・令和3年11月19日（日本年金機構本部）
- ⑦ 「アニュアルレポート2020」の送付
・令和4年3月（代表年金事務所・各年金事務所）

毎年11月の「ねんきん月間」にあわせて、公的年金事業や健康保険事業の推進に顕著な功績のあった年金委員、健康保険委員及び事業主の方々へ表彰伝達を行っています。

令和3年度は、研修会は実施せず、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、参加人数を限定して実施しました。

- 厚生労働大臣表彰 2名
- 日本年金機構 理事長表彰 5名
- 日本年金機構 理事表彰 13名
- 日本年金機構 年金事務所長感謝状 19名

(4) 年金委員活動支援事業

■ 職域型年金委員に対する説明会の実施

郡山年金事務所管内の職域型年金委員を対象として、Web会議サービスを使用して令和4年度の年金制度改正にかかる説明会を実施しました。郡山社会保険委員会の協賛をいただき、当日は26事業所に対して郡山・平・白河年金事務所の担当者が説明を行い、4月からの制度改正後のスムーズな事務手続きが行えるよう制度周知に努めました。

■ 「全国年金委員研修」の開催

日本年金機構本部において、毎年11月に地域型・職域型の年金委員を対象とした研修会を開催しています。研修会の中では、公的年金制度の内容や仕組みだけでなく、制度改正などの最新情報についても分かりやすくお伝えしています。

令和3年度は、各年金事務所のTV会議システムを使用してオンラインで研修を実施し、終了後は委員による意見交換を行いました。意見交換では、活動における問題点として「委員同士の交流が少ないので、連携も取りづらい」といったご意見がありました。また、オンラインでの研修については、「あとで見直すことができると助かる」、「オンラインは受講型なので集中力が必要」などの意見があり、今後、Web会議サービスを使用した研修会等を実施するにあたり、研修方法などを検討する良い機会となりました。

2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	11月の取組内容
代表年金事務所・各年金事務所	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
各年金事務所	令和3年度「社会保険事務講習会」の実施(※1)
各年金事務所	管内の学校で年金セミナーを実施
各年金事務所	退職準備セミナーで年金制度説明会の実施(※2)
東北福島	コミュニティFMを活用した年金制度説明の実施
郡山・会津若松	管内の事業所で年金制度説明会の実施
平・会津若松・相馬	出張年金相談の実施
会津若松	市町村担当者障害年金事務研修会の実施
白河	新規適用事業所事務説明会の実施
白河	市町村国民年金事務担当(初任者)研修会の実施
白河	管内市町村で制度説明会の実施

(※1)社会保険事務講習会は10月にも実施しています。

(※2)退職準備セミナーは10月、12月、1月にも実施しています。

3 マスコミでの取り上げ状況

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへプレスリリースを行った結果、各紙面へ掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和3年5月30日	福島民報新聞	第1回「福島県年金ポスターコンクール」作品展の開催
令和3年5月30日	福島民友新聞	
令和3年7月 8日	福島民友新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
令和3年11月10日	福島民報新聞	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
令和3年11月11日	福島民友新聞	
令和3年11月19日	福島民友新聞	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式
令和3年11月30日	福島民報新聞	年金の日特集「11月30日は年金の日」です。
令和3年11月30日	福島民友新聞	
令和3年12月14日	福島民報新聞	第2回「福島県年金ポスターコンクール」審査結果発表
令和3年12月17日	福島民友新聞	
令和3年12月17日	福島民報新聞	第2回「福島県年金ポスターコンクール」授賞式
令和3年12月18日	福島民友新聞	
令和4年 2月 1日	福島民報新聞	退職準備セミナー(東北福島:1月29日実施)
令和4年 2月 4日	福島民友新聞	第2回「福島県年金ポスターコンクール」作品展
令和4年 2月 5日	福島民報新聞	

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

4 福島県内の各年金事務所における取組

東北福島年金事務所

地域連携事業

●「ねんきんネット」の周知拡大

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンからご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスとして全国で770万人が利用しています。

東北福島管内でも利用促進に向けて、関係機関や年金委員などに積極的にポスターやリーフレットを配布しています。令和3年度は、マイナンバーカードを使用してマイナポータル経由での「ねんきんネット」利用を周知するため、マイナンバーカードの普及率の高い市町村を中心にアプローチを行い、全戸配布していただきました。これからも多くの方に「ねんきんネット」の利便性を周知してまいります。

年金セミナー事業

●「第2回福島県年金ポスターコンクール」作品展示

福島県内の中学生を対象に、公的年金をテーマとしたポスターを募集し48点の応募をいただきました。応募いただいた作品については、2月に福島市の「コラッセふくしま」に展示し、3月には入賞作品11点及び東北福島管内の応募作品を東北福島年金事務所内に展示いたしました。

保険料を納めている学生から受給者の方まで、幅広い年齢層の方に展示をご覧いただきながら、中学生の多様な年金のイメージに触れて、年金をより身近に感じていただく機会として今後も取り組んでまいります。



年金事務所での作品展示の様子

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施結果

若手職員を中心に、地域年金推進員と連携し、令和3年度は24回(中学校7回・高等学校6回・支援学校4回・専門学校7回)のセミナーを実施しました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した対面方式に加え、令和3年度は、初めて非接触型のweb会議サービスを活用したオンラインによる開催も行ってきました。

学生の皆さんからは「自分が20歳になったら年金に加入すること、年金を納めていくことの重要性がわかった」など年金の仕組みだけではなく、自分がどう年金と関わっていくかを考えたご意見を多くいただきました。

引き続き、若い世代の年金制度への理解が深まるように、楽しく、わかりやすいセミナーの実施に努めてまいります。

年金委員活動支援事業

● 年金委員活動支援の取組

年金制度をより理解し、各事業所、地域で積極的に活動していただくために、チラシやリーフレットなどの情報提供を定期的に行ってきました。

また、まん延防止等重点措置により急遽中止となった対面による研修会を、web会議サービスを使用したオンラインに変更し制度改正に係る研修会を実施してきました。

平年金事務所

地域連携事業

● 地域・企業等に対する制度周知

令和3年度は、地域・企業等からの要請を受け、職員を派遣し、年金制度の説明会を行ってきました。結果として、7回の実施を行うことができました。

特徴的なこととして、年金月間における「市民文化祭での臨時年金相談」を実施してきました。また、「職域型年金委員選出の事業所様レシート発行時に予約相談促進PRメッセージ表記」の実施を行っていただけました。

令和4年度については、市町村広報誌による周知、受給者協会・社会保険協会等へアプローチを行い、制度周知の回数を増加させます。なお、オンラインでの説明会も進める予定です。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの取組

令和3年度は、管内で14回の年金セミナーを実施しました。年金セミナー実施後、学生の皆さんからは「年金へのイメージが良くなった」等の多くの感想をいただいております。令和4年度においても地域年金推進員との連携と講師のレベルアップを図り、昨年度以上の実績を達成するように進めます。

会津若松年金事務所

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施

令和3年度の年金セミナーについては12校(専門学校2校・高等学校6校・中学校4校)に対し実施しました。セミナー実施後のアンケートでは「年金の仕組みが理解でき、若いうちから納付が必要と感じた。年金の必要性が理解できた。」等多くの前向きな感想をいただきました。

今後も更なる講師のスキルアップのため、事務所内でのプロジェクトチーム活動を積極的に行っていきます。

また、教育機関へ積極的に実施へ向けてのアプローチを行い、前年度より開催件数を増やしていき広く周知活動に努めてまいります。

地域相談事業

● 出張年金相談の実施

年金事務所より遠方のお客様に対し、喜多方市と連携し年6回(偶数月に1回)、事務所職員が市役所へ出張し年金相談を実施しております。予約制のためお待たせすることなく、また相談者の方からは近いところで年金相談・手続きができるということで大変好評を得ており、市役所からも開催継続の強い要望を受けています。

今後もお客様の立場に立ち、一層の利便性の向上に努めていきます。

相馬年金事務所

地域連携事業・地域相談事業

● 関係機関(団体)との協力・連携

令和3年度から対面式に加え、Web会議サービスを使用したオンラインでの制度説明会が始まりました。関係機関(団体)主催の年金制度説明会も含め、6回(対面式5回、オンライン1回)の制度説明会に講師を派遣しております。管内自治体との連携を深め、公的年金制度の周知・啓発に努めております。

また、地域住民の利便性を図るため、南相馬市役所への出張年金相談を毎月2回予約制により実施しております。相談に来られた方からは近いところで相談ができるということで好評を得ており、今後も継続して行っています。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの取り組みについて

令和3年度は コロナウィルス感染防止の観点から、対面での開催は難しく、オンラインによる年金セミナー開催に向け管内教育機関へ実施依頼文書の送付等取り組んでまいりました。

アプローチの結果は、1校(8クラス)オンラインでの実施となりました。今後も各学校に積極的に開催の働きかけを行い、学生の皆さんにより年金制度の理解を深めてもらえるよう更なる充実を図っていきます。

地域連携事業

● 制度説明会の実施と啓発活動

制度説明会及び市町村の広報誌等を活用し、「ねんきんネット」、「電子申請」、「国民年金の免除手続き」等の周知を行ってきました。

また、関係団体主催の制度説明会に積極的に講師を派遣し、年金受給待機者や事業所の事務担当者のニーズに応えた制度説明に務め、取り組んでいます。

引き続き、事業所の事務担当者や地域の方のニーズを捉え、年金制度の周知と啓発に取り組んでまいります。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施

学生の皆さんが年金制度の知識を深め、その必要性を理解していただくことを目的に、講師3人体制で年金セミナーを実施してきました。

セミナーを受講した生徒さんからは、「年金の必要性が分かった」、「障害年金や遺族年金があることを知れてよかった」等の感想をいただいております、年金制度へのイメージアップにも繋がっております。

令和4年度はより多くの教育機関から年金セミナーを実施していただけるよう、受講する世代に応じたセミナー内容の拡充も図りながら、引き続き、わかりやすい年金セミナーの実施に取り組んでまいります。

5 福島県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築及び地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、7月と1月に地域年金事業運営調整会議を開催しています。

7月の会議では、資料に基づき福島県における令和2年度の地域年金展開事業の取組結果及び令和3年度事業計画について、対面会議での説明を予定しておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面での開催として各委員の皆様へ資料を送付しました。また、1月についても、新型コロナウイルス感染症が未だ収束していない状況を踏まえ、対面ではなく書面での開催としました。



6 各事業における総括と今後の対策

事業種類	総括・今後の対策
地域連携事業	○年金制度説明会の実施 令和3年度の年金制度説明会については、102回2,313名に対して行い、前年度より66回増加しました。そのうち、Web会議サービスを使用したオンラインでの制度説明会は全体の25%を占め、関係機関・団体等を中心に持続可能な取り組みとして定着してきたところです。オンラインの利便性としては、少人数でも参加しやすく遠隔地からの参加も可能な点が挙げられます。今後はより研修内容の充実を図るとともに、各年金事務所との合同開催等で実施機関の拡大に取り組んでまいります。 課題としては、対面での実施と違い、非対面では相手方の顔が見えづらいことで、受講者の理解度を確認しながらの説明が困難となります。相手方の要望を聞く機会を増やし、年金制度の知識や手続き、制度改正等の情報を周知することが重要と考えます。 また、オンライン環境によって非対面での実施が難しい事業所などについては、制度周知に差が生まれることのないよう、対面での実施とあわせて柔軟に取り組んでまいります。
年金セミナー事業	○年金セミナー実施 令和3年度の年金セミナー実施については、61校(79回)3,303名に対して行い、前年度より22校(34回)増加しました。増加の要因として、コロナ禍前に実施していた中学校、高等学校で継続して実施していただいたことが考えられます。また、対面のほかにWeb会議サービスを使用したオンラインでの実施や動画(DVD)での実施をアプローチしたことで、中学校ではコロナ禍前より実施校数が増加しています。 引き続き、学校の要望に沿った実施方法を提案し、未実施の学校に対しても積極的にアプローチすることで、多くの学生・生徒等に対して正しい年金制度の知識や手続きを理解していただけるよう努めてまいります。 また、教職員を対象とした研修会や特別支援学校での教職員・保護者向けの説明会なども充実してまいります。

6 各事業における総括と今後の対策

事業種類	総括と今後の対策
地域相談事業	○出張年金相談の実施 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、今年度は会津若松管内で5回23名、相馬管内で14回42名に対して実施しました。引き続き、関係機関の協力をいただきながら実施してまいります。 また、大学構内における納付相談会やハローワークでの雇用保険受給者説明会などについても、開催が可能となるよう取り組んでまいります。
年金委員活動支援事業	○年金委員の委嘱拡大 令和3年度は、職域型年金委員が2,462名、地域型年金委員が146名となり、前年度より職域型年金委員で235名増加、地域型年金委員で52名増加となりました。増加の要因として、職域型年金委員では、他事業の依頼と併せて事務担当者に直接アプローチしたことや、積極的に文書勧奨を行ったことが挙げられます。特に、全国健康保険協会で委嘱されている健康保険委員への勧奨においては、勧奨による委嘱率が約30%と高く、年金制度へ関心が高いと考えられます。 地域型年金委員においては、福島県社会保険労務士会の協力で委嘱数を増やすことができました。 今後も年金委員活動にお役立ていただくため、年金委員への情報提供を積極的に行っていくとともに、活動支援として年金委員の認知度を上げる取り組みを行ってまいります。 ○年金委員研修会の実施 郡山年金事務所管内の年金委員を対象に、初めてオンラインでの研修会を実施しました。 職域型・地域型ともにコロナ禍での研修会等の実施は喫緊の課題であり、特に地域型年金委員については実施方法を模索していく必要があります。 今後は、対面のほかにWeb会議サービスを使用したオンラインでの研修会などの充実を図りながら、年金委員に対してきめ細かな活動支援を行ってまいります。